

第8回 IDEHA雪崩事故防止講習会(クラス1)

今回で8回目を迎えるIDEHA雪崩事故防止講習会。

今回気象を一番目に持ってきて、気象→雪崩→事故例の流れを作りました。

雪崩が起きる仕組みを理解しやすく、今回新たに雪崩事故例を加えてよりリアルに伝えます。

日本気象予報士の関原氏、雪氷防災研究センターの小杉所長、全国雪崩講師の鈴木氏の濃厚な座学講習は、各講師陣が自分で経験したことをそのまま伝える生きた情報で、これから冬山に入られる方から、エキスパートまでしっかり伝わる内容です。

自分の身を守るため、仲間を守るため、皆様の講習会への参加をお待ちしております。

開催日 11月23日(祝)

開催時間 AM10:00~PM17:00

講習会場 山形テルサ2階リハーサル室 ※山形駅西口すぐ

参加対象 雪山を愛する皆様

定員 50名(※定員になり次第締め切らせて頂きます。)

講習料金 4,000円

準備品 筆記用具、昼食(お弁当持参・外食可)

お申込み IDEHAホームページ申込みフォーム・メール・FAX等でお申し込み下さい。

〆切 11月20日(水)

講習内容&タイムスケジュール

受付 AM9:30~9:50(テルサ2階リハーサル室にて)

①「山の天気を予想する」 AM10:00~11:50

分かっているようで以外に分かっていないのが気象。気象の基本的な話から、地上天気図と高層天気図を交えて、冬の特徴的な天気図を説明いたします。自身もBCスキーヤーの関原講師が自分の経験も交え説明して頂きます。天気図を正しく読むことから安全の第一歩が始まります
2019年12月の実技講習を受講される方は、この講座を受講することが条件となります。

日本気象予報士会 東北支部 関原 孝俊氏

②「積雪に関する一般知識・雪崩と気象との関連」 PM12:50~14:50

降雪の仕組み・雪崩の基礎知識を分かりやすく説明します。
雪崩を知るにはどのように雪が出来て、どんな雪が雪崩を引き起こすのかを知る必要があります
今回気象の講習と組み合わせることで、より降雪の仕組みが分かる内容になっています。
2019年12月の実技講習を受講される方は、この講座を受講することが条件となります。

雪氷防災研究センター 新庄支所 所長 小杉 健二博士

③「雪崩事故から学ぶ」 PM15:00~17:00

今までに、どのような雪崩事故があったのかを知ることによって、如何にして雪崩事故を避けうるか、如何にして救助活動を行うべきか、雪崩事故に遭遇した際に必要な事柄は何なのか。私達は過去の雪崩事故のひとつひとつに、学ぶべきものがあります。あなたは何かを見つけ出すでしょうか？
2019年12月の実技講習を受講される方は、この講座を受講することが条件となります。

日本勤労者山岳連盟雪崩テキスト編集委員・全国雪崩講師 鈴木 孝氏

※ 昨年受講された方は基礎講座免除で実技を受講することが出来ますが、受講することをお勧めします。

※ 山形テルサ 〒990-0828山形市双葉町1丁目2-3 TEL023-646-6677

※ 雪崩講習時昼食を11:50~12:50分の間で昼食を挟みます。

※ 駐車場は近くにコインパーキングがあります。各自でのお支払いになります。

お申込み・お問合せ IDEHA 担当:石沢

URL: <http://www.ideha.jp> E-mail: ideha@khaki.plala.or.jp TEL:090-7067-0667